

桒田 和美 議員

(一問一答方式)

- ①体育館の環境改善について
- ②選挙について



小中学校の体育館へのエアコン設置に向けた計画の推進状況と設備手法について

問 児童生徒の安全確保の強化を図るとともに、避難所機能を整えるため、各小中学校の体育館のエアコン設置に向けて早急に計画を立てて進めるべきと考える。また、災害発生時に電力の供給が停止することを想定し、LPガスを活用することについて考えを伺いたい。

答 小中学校体育館のエアコンの設置については、空調設備整備臨時特例交付金を活用し、効率的かつ効果的に整備できるよう、現在整備計画を作成中です。計画の作成に当たっては、空調方式やランニングコスト、さらには断熱工法など、専門業者の意見を参考にしながら進めています。

なお、空調方式の選定については、現在電気式あるいはガス式で検討しており、中でもガス式は災害時に電力が停止した際もガスのみで空調を稼働することができるという特徴を備えたものであり、災害時には有効であると認識していますが、今後それぞれの方式のメリット、デメリットの検証を行い、総合的に判断をしたいと考えています。

また、今後のスケジュールについては、本交付金の対象期間が令和15年度までであることから、できるだけ早期に着手したいと考えていますが、将来世代に過度な負担とならないよう財政計画をしっかりと立て、今年度中には年次計画の確定に努めていきたいと考えています。

山間部の高齢者や障がい者の投票への支援について

問 山間部の一人暮らしの高齢者から、投票所まで遠くて交通手段がないので投票に行かなかったという声も聞くが、統廃合された投票所の数について教えてほしい。また、今後大洲市ではこの課題につい

てどのように取り組むのか伺いたい。

答 統廃合した投票所の数については、市町村合併後50か所であった投票所は、有権者数の減少により、平成22年に1か所、平成30年に1か所、令和3年に2か所を統廃合し、また、投票所となる施設の老朽化により令和5年、令和6年にそれぞれ1か所ずつを統廃合し、合計6か所減少したことにより、現在は44か所となっています。

この課題に対する取組として、参議院選挙より開設したオズメッセ期日前投票所は、本市の交通結節点になっていること、また市内周辺部から送迎バスがあり、山間部にお住まいの皆様もそれを利用してお越しいただけることなどを期待しています。

今後更なる人口減少を迎え、当日投票所の統廃合を検討すべきときが来た際には、例えば日時を指定し、集落内の施設で一時的に期日前投票所を開設するなど、投票の機会を確保する取組について検討したいと考えています。

ポスター掲示板の設置について

問 選挙ポスターの掲示板が減少しているが、有権者への情報は平等に提供すべきと考えている。掲示板設置の基準について聞かせてほしい。

答 ポスター掲示場の設置数についての基準数は、市内の投票区の数、選挙人名簿登録者数、面積により定められており、掲示板の設置数は愛媛県選挙管理委員会と協議のうえ、減ずることができるとされています。

これまでの減少の理由としては、投票所統廃合による設置数の減少、築堤、道路線形の変更など大型工事により設置できなくなったもの、またその視認性や効果を考慮して減じたものなどがあります。

大洲市は投票区が多く面積も広いことから、近隣他市と比べて基準数が多くなっていることもあり、毎年設置箇所を見直してきたところですが、設置場所を見直す際には、それぞれの地区にお住まいの方が、生活の中で移動するうえで確認できる場所があるよう注意して検討しています。

今後も有権者に対し平等に情報提供できるよう努めるとともに、さらなる利便性向上を図り投票環境の充実を目指していきたいと考えています。